

参考資料：科学技術人材育成コンソーシアム設立総会議事録（案）

日 時：平成 22 年 5 月 15 日（木） 17 時 10 分～17 時 35 分

場 所：日本学術会議 講堂

出席正会員（順不同）：

土木学会、日本機械学会、電気学会、日本工学教育協会、日本非破壊検査協会、
日本建築学会、日本マシニング・エンジニアリング学会、日本工学会

オブザーバ参加（参加の正式決定が未了の団体、順不同）：

計測自動制御学会、地盤工学会、資源素材学会、日本溶接協会、
映像情報メディア学会、軽金属学会、日本電機工業会、日本工学アカデミー、
科学新聞社

議 事：

谷下 一夫日本工学会理事の司会の下で議事がスタートした。

1. 出欠の確認

現在までにコンソーシアムへの参加を正式に決定している 11 団体のうち、8 団体が出席していることを確認した。

2. コンソーシアム代表者の選出

総会出席者に対して代表者の推薦が求められたが特に推薦が無く、司会から池田 駿介日本工学会副会長の推薦があり、満場一致でこれを承認した。これに伴い、土木学会からは代替りの会員代表者を推薦してもらうことになった。

この時点から、議長を池田代表者が務めた。

3. コンソーシアムの活動見通しと規定案の説明

池田議長から、代表就任の挨拶に続いて次の点が説明された。

- 1) 現時点でコンソーシアムへの参加を正式決定した団体が 11、仮決定をした団体が 9 であり、参加の意思決定の一助とするために本日のシンポジウムを開催した。現在の参加団体は学協会が中心であるが、企業、業界団体、官にも参加を求めてゆく。
- 2) 活動資金としては、日本工学会の中に 200 万円の基金をつくり、とりあえずこれを活動資金にすることが説明された。
- 3) 活動計画は、本日のシンポジウムで出た意見を踏まえて、幹事会で議論して案を作り会員に提案する。

続いて、池田議長から、コンソーシアム規定案の説明が行われ、意見があれば事務局に送ることになった。ただし、第 10 条（運営責任者）については承認された。提出された意見を踏まえて幹事会で改定案を作り、次回の総会で承認を求めることになった。特に、第 2 条目的には、コンソーシアムの出口を明記することを検討することになった。

4. 副代表の選出

代表者の池田議長から、副代表候補者として笠木 伸英（日本機械学会）と松瀬 貢規（電気学会）の指名が行なわれ、これが承認された。

5. 今後の予定

池田代表者から、次回総会は秋口に 1 度開催する意向が示された。

以上